

ワンポイントアドバイス

新しく来られた方や、久しぶりに参加した利用者がグループゲームに参加する場合は、上手なグループ分けで、不安感を取り除く工夫も必要です。

前述したグループ分けのポイントを参考にグループの一員にしてあげてください。初めての方でも違和感なく参加することが可能です。常連の利用者も、お互いに共通項があるため、より受け入れやすいでしょう。

例えば、「今日は、生まれた季節でのグループ対抗ゲームをします。それでは、春、夏、秋、冬、それぞれ仲間を探して、グループをつくりましょう。」など。

お友達同士、いつも一緒にいる人たちを違うグループにする場合にも活用できます。

こんな風も活用できます

子どもたちとの交流のメニューに

射的を経験している、おじいちゃん、おばあちゃんがリーダー役になるという場面も生まれます。利用者のリードで「割り箸鉄砲」をつくり、射的を使って楽しむことも出来ます。「割り箸鉄砲」の作り方は、経験のあるおじいちゃんに教えてもらいましょう。

このゲームの演出の工夫は、日々のゲームにも活用できる

集団の発声や全員の応援を引き出す方法は、他の様々なゲームにも活用できます。利用者にとっても、自分の役割を果たしていきながらゲームを楽しむことで参加意欲が高まり、仲間意識が育まれます。

ゲームの感想などを聞いてみましょう

援助者は、ゲーム中の利用者の声や、個性的なプレーや逆転場面などを話のきっかけにして、利用者同士のコミュニケーションをつなげる工夫をしましょう。

回想のきっかけをつくりましょう

子どもの頃には、どんな場所で射的をやったか、どんな鉄砲や的だったか、また昔の景品はどんなものだったかなどを聞き出してみてください。様々な回想が引き出せるはずです。